

➤ 1時間半でわかる臨床でしか使えない脳卒中リハビリ

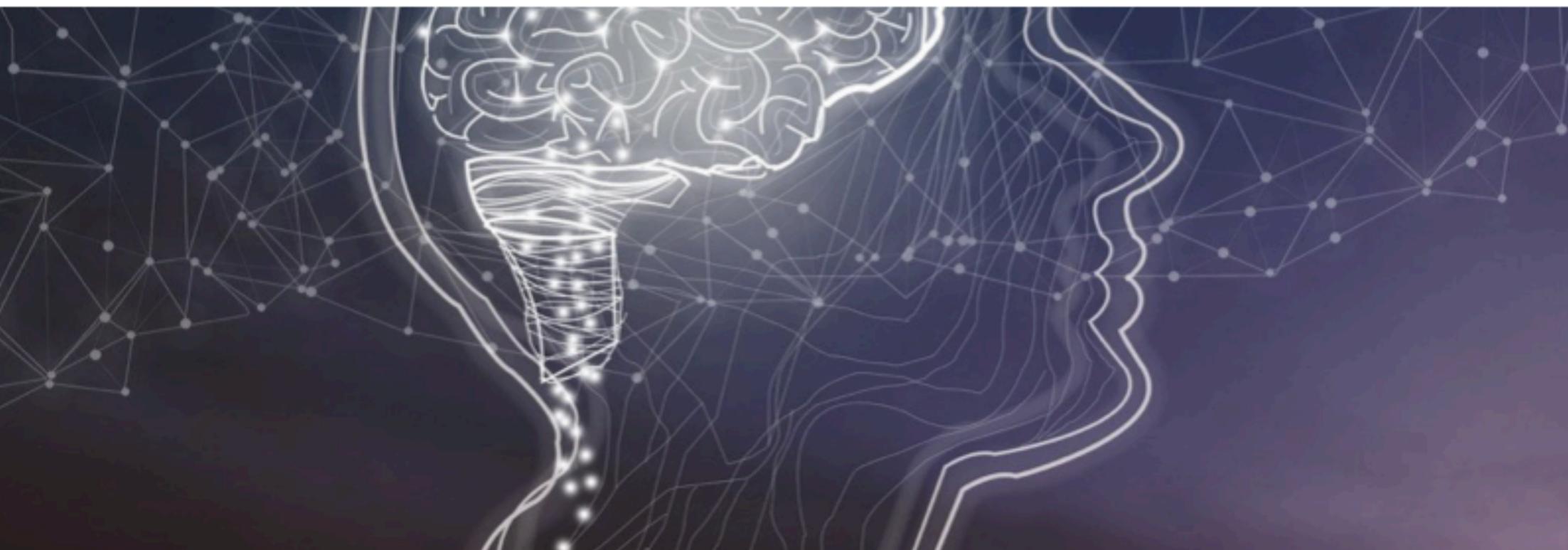
身体失認・病態失認の 評価とアプローチ

①失認とは？

②身体失認とは

③病態失認とは

④失認の評価方法



臨床と知識を繋ぐ

脳外臨床大学校



講師：脳外臨床研究会 会長
作業療法士 山本秀一郎

失認とは？

失認とは、1つまたは複数の感覚において対象を同定できなくなった状態

これは何？



認識できない

物事をはっきりと見分け、
判断すること



感覚障害では？

結果

ハサミをハサミとして
使うことができない

失認とは？

失認とは、1つまたは複数の感覚において対象を同定できなくなった状態

これは何？



認識できない

物事をはっきりと見分け、
判断すること

結果

どんな場面で
どのように使いますか？

使い方がわからないのは
感覚障害が原因？

失認とは？

失認とは、1つまたは複数の感覚において対象を同定できなくなった状態

これは何？

認識

結果

物事をはっきりと見分け、
判断すること

＜ウォーターガイド＞

台所、洗面所、お風呂などの蛇口に取り付けて使用。
お子さんの手洗やバケツに水を移す時に便利です。



失認とは？

失認とは、1つまたは複数の感覚において対象を同定できなくなった状態

これは何？



この商品を知らない人も失認？

失+認識

<失うとは？>

今まで持っていたり、
備わっていたりした大事なものをなくす

失認のルール

病前は当たり前のようにできていたことが
認識できなくなる

結果

知らないから
使えない？

認識に必要なこと

認識：物事をはっきりと見分け、判断すること

これは何？



ハサミ

なぜハサミだとわかる？

形

視覚情報

+

記憶

視覚情報で認識できない

<失認とは>

失認とは、1つまたは複数の感覚において対象を同定できなくなった状態

認識に必要なこと

認識：物事をはっきりと見分け、判断すること

これは何？



ハサミ

なぜハサミだとわかる？

形

視覚情報

+

記憶

視覚情報で認識できない

<失認とは>

失認とは、1つまたは複数の感覚において対象を同定できなくなった状態

視覚失認

認識に必要なこと

認識：物事をはっきりと見分け、判断すること

これは何？



ハサミ

なぜハサミだとわかる？

形

視覚情報

+

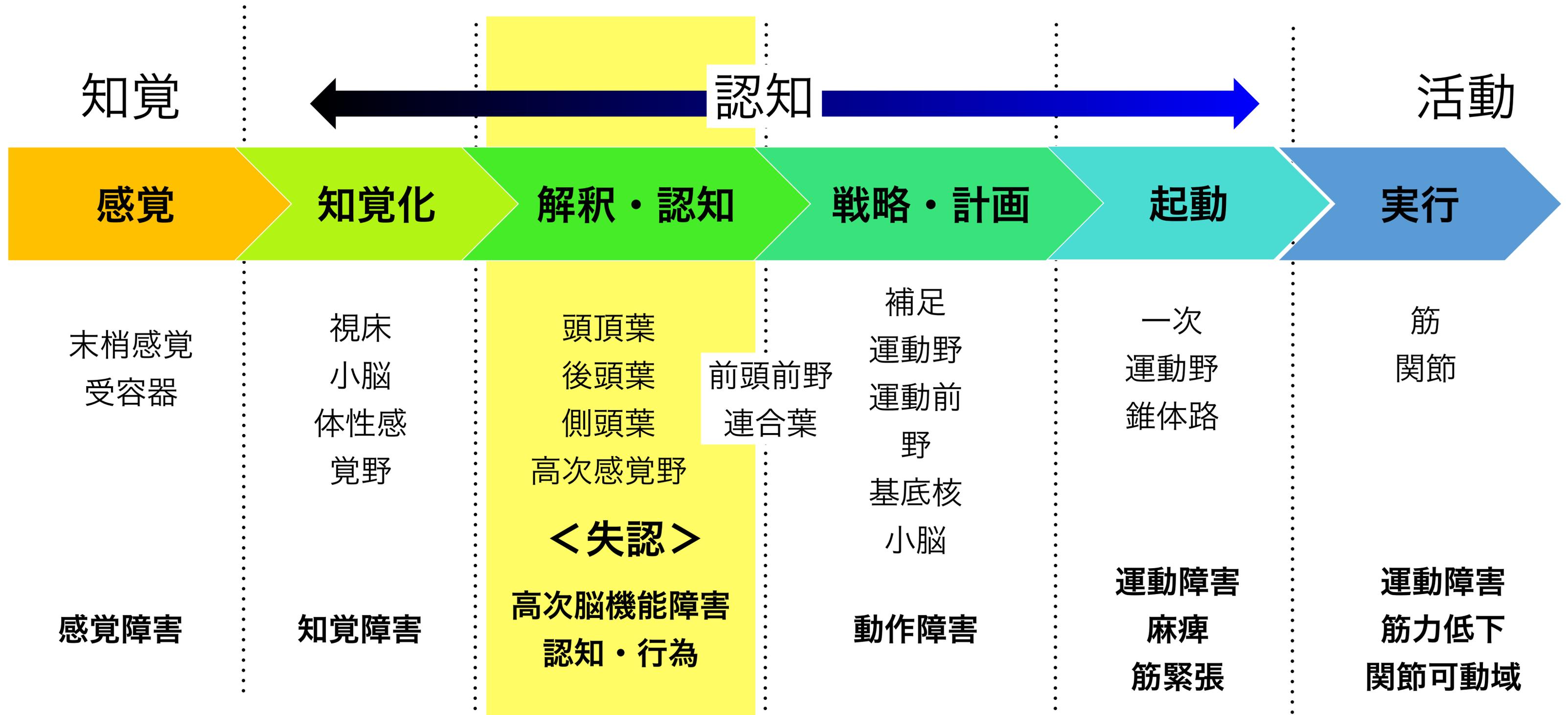
記憶

記憶障害



記憶が問題で
認識ができない

人は物をどのようにして認識しているのか？



人は物をどのようにして認識しているのか？



失認とは？

感覚障害が無いにも関わらず、ある感覚を介して対象物を認知することの障害

物事を判断するために必要なものとは？

視覚



意味記憶の種類

認識できない

右
脳

建物や風景



街並み失認

人物



相貌失認

左
脳

単語・物品



物体失認

記号・文字



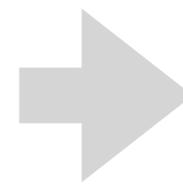
失認性失読

身体失認とは？

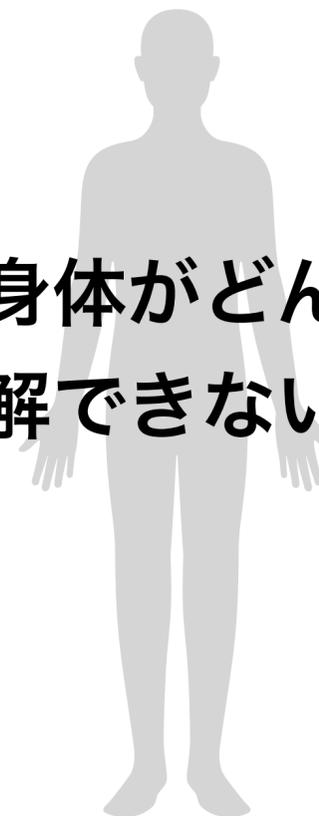
身体失認あるいは身体図式障害とは自己身体に対する空間的認知の障害と定義する

表1 身体失認の分類

-
1. 片側身体失認 hemiasomatognosia
 - 1) 病態失認 anosognosia
 - 2) 疾病無関知 anosodiaphoria
 - 3) 意識されない片側身体失認
unconscious hemiasomatognosia
 - 4) 意識された片側身体失認
conscious hemiasomatognosia
 2. 両側身体失認 bilateral asomatognosia
 - 1) ゲルストマン症候群 Gerstmann syndrome
 - 2) 疼痛象徴不能 asymbolia for pain
-



自分の身体がどんな状態か
理解できない障害



身体失認とは？

身体失認あるいは身体図式障害とは自己身体に対する空間的認知の障害と定義する

自分の身体の状態



認識できない

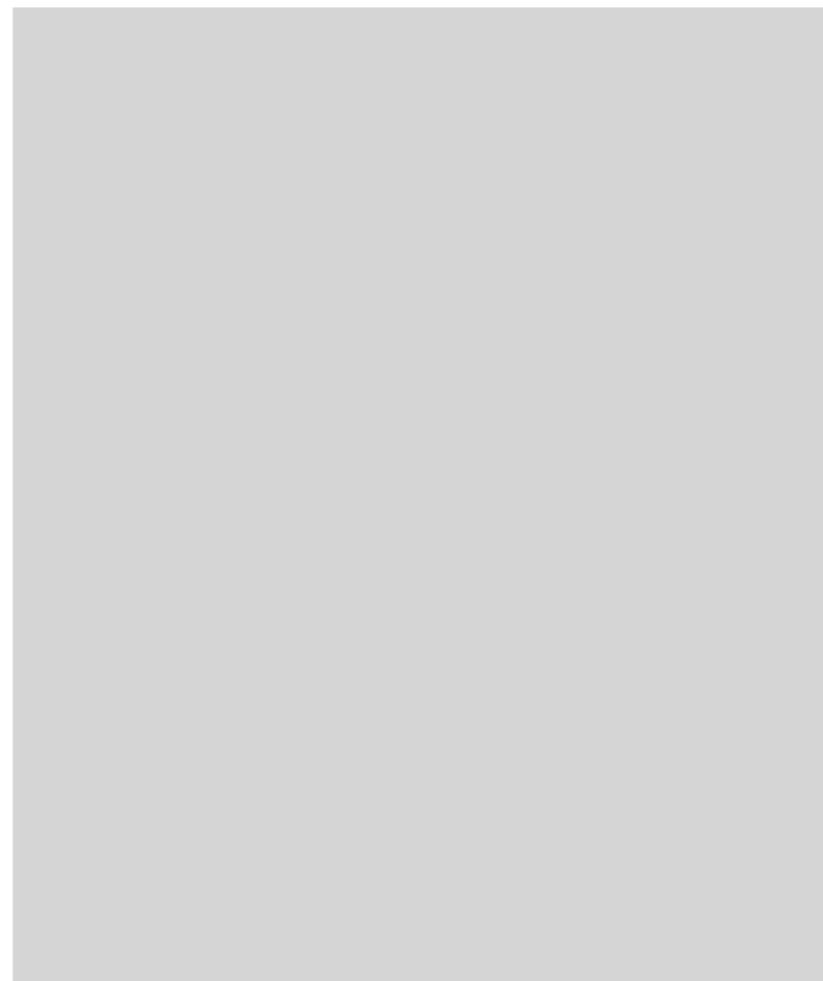
物事をはっきりと見分け、
判断すること

結果

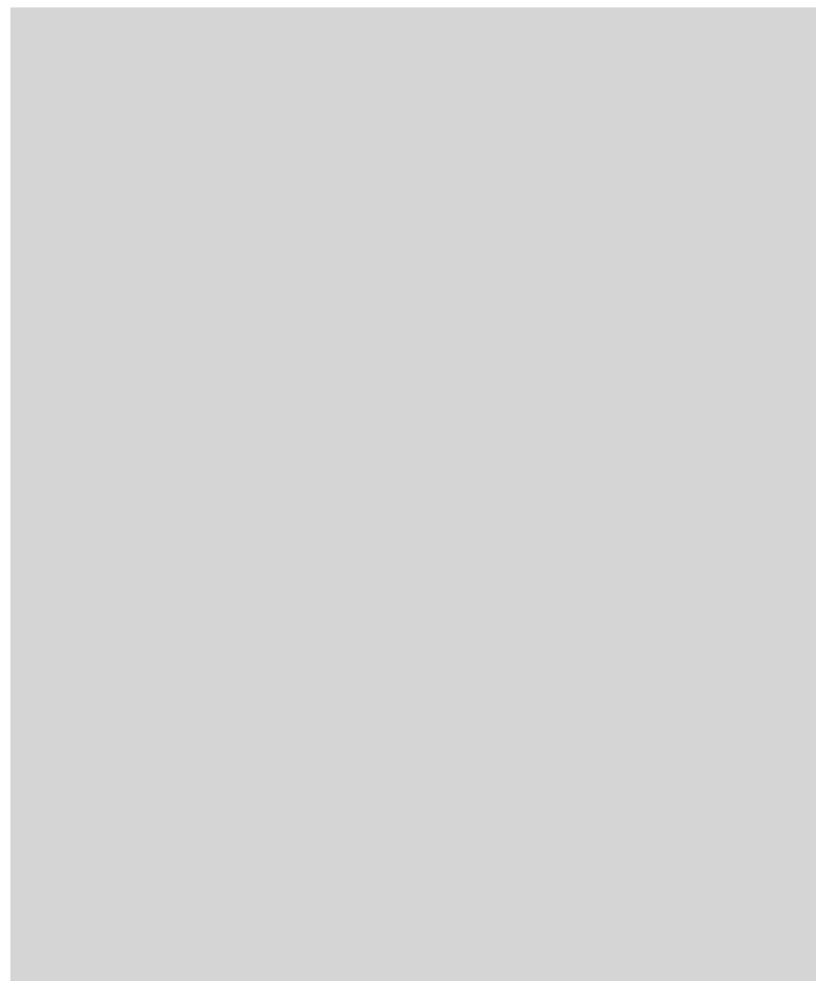
半身を無視して使わない（半身身体失認）
麻痺がないように動く（病態失認）
何指かわからない（手指失認）
苦痛に対して逃避しない（疼痛象徴不能）

身体失認とは？

身体失認あるいは身体図式障害とは自己身体に対する空間的認知の障害と定義する



×



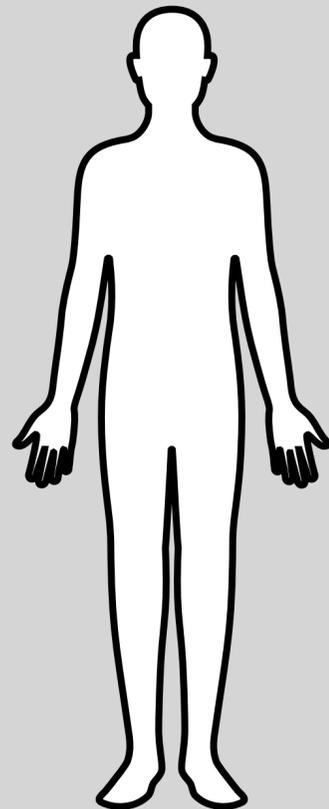
=



身体図式とは？

経験により更新される習慣的な身体
自分の身体の空間的イメージを成立させる意識化の働き

身体の図

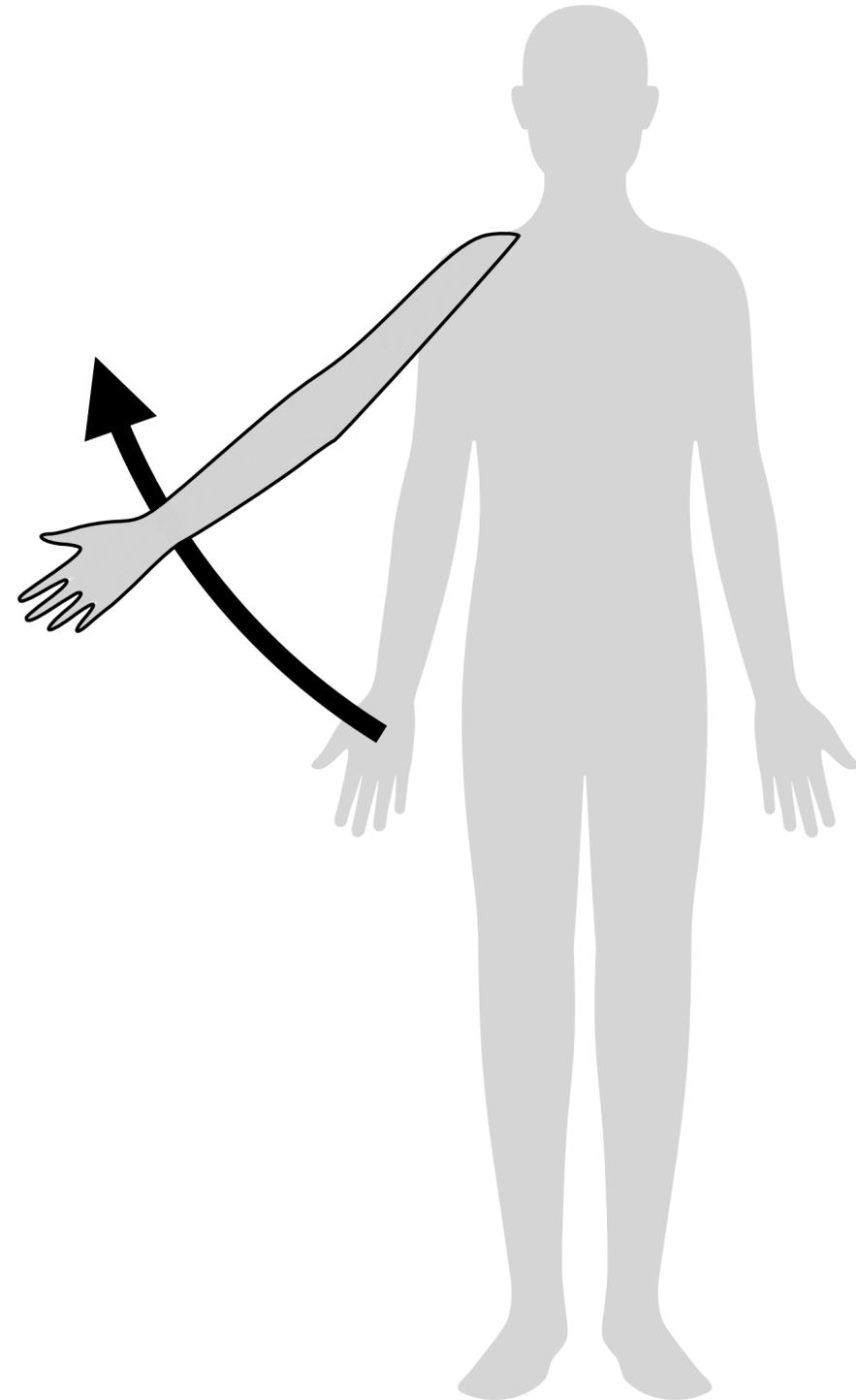


身体の式

動かし方

連合反応・共同運動・代償との違い

問題点：動かない→動かしたい→動いた結果（連合反応・共同運動・代償）



連合反応

非麻痺側が動き→麻痺側が動く

EX：非麻痺側の肩が外転して、麻痺側の肩が外転する

共同運動

麻痺側の違う部分が動き→目的とした運動が起こる

EX：麻痺側の肘が屈曲して、麻痺側の肩が外転する

代償運動

動かない部分の動きを違う動きで補う

EX：体幹の側屈で、麻痺側の肩を外に開こうとする

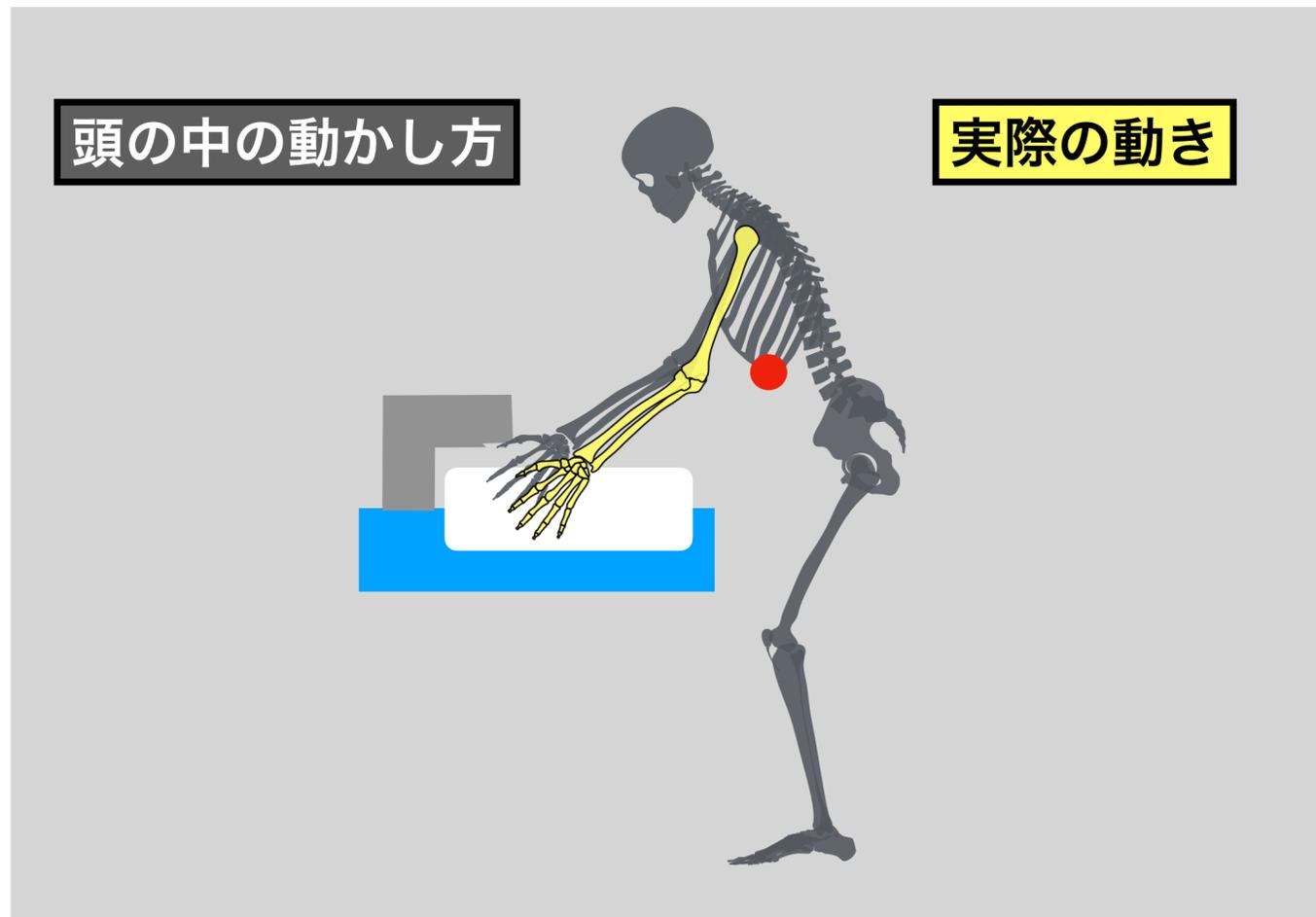
身体図式

①動かすイメージができない

②外転しようとするも実際には内転している

感覚障害と何が違うの？

経験により更新される習慣的な身体
自分の身体の空間的イメージを成立させる意識化の働き



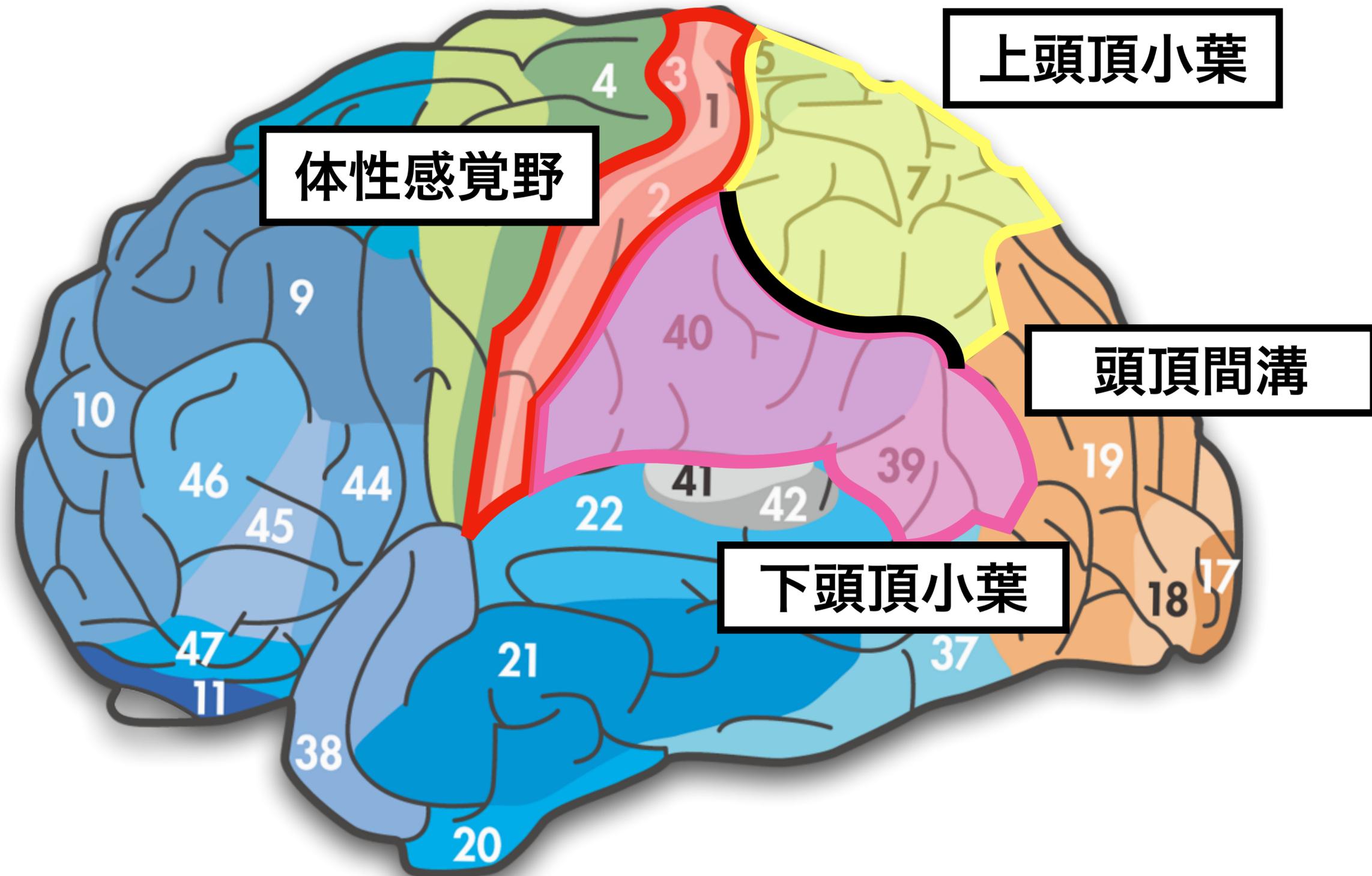
身体図式 → 誤差

→ 身体を動かすためのプログラムの問題
身体の状態(図)の把握と身体の動かし方 (式)

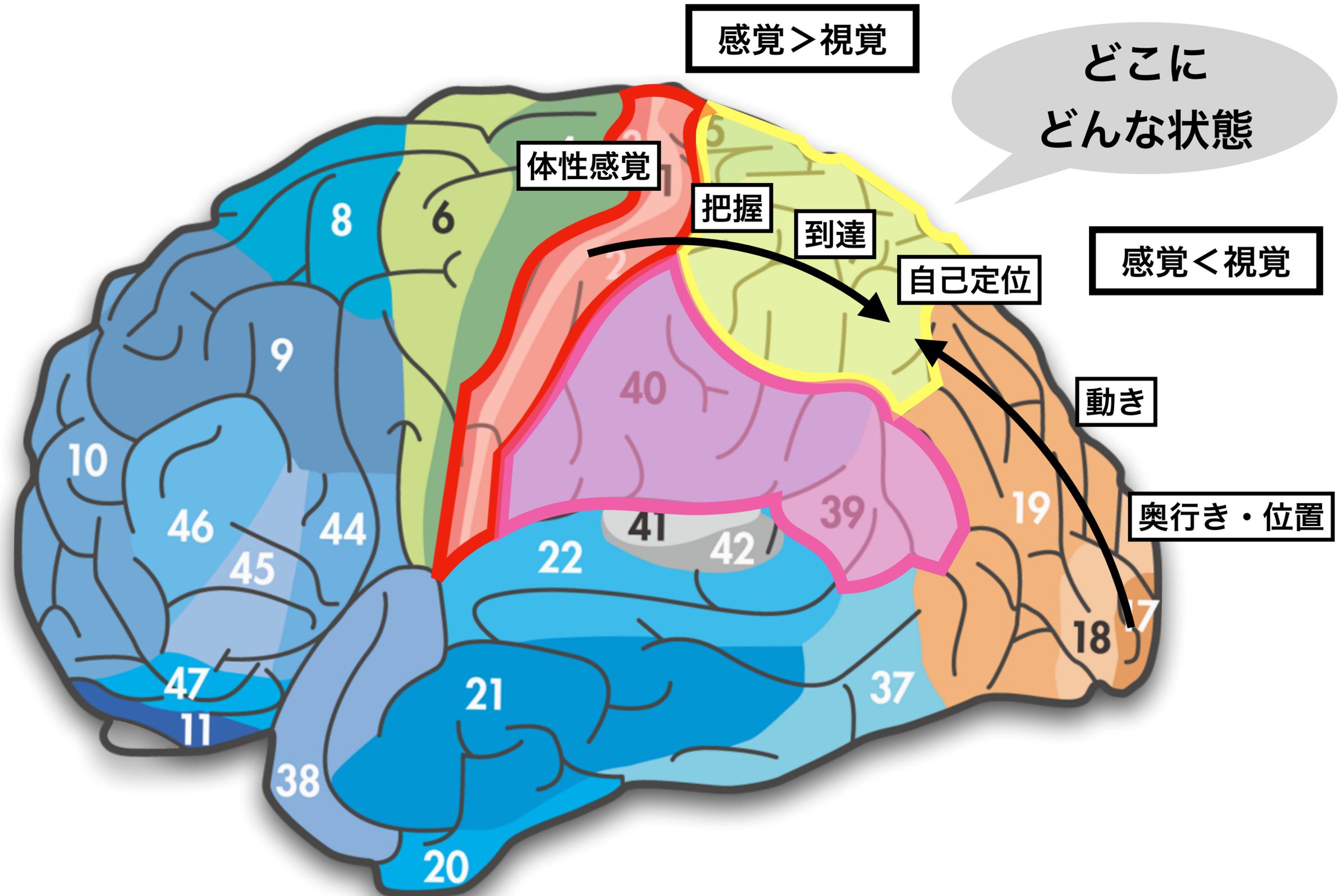
感覚障害 → 感覚受容器の情報を脳に届けることができない

→ 身体の動き (筋紡錘) の情報が脳に届かないことで
身体の位置や動きがわからなくなる

身体図式はどこで形成される？



身体図式はどこで形成される？



身体失認とは？

身体失認あるいは身体図式障害とは自己身体に対する空間的認知の障害と定義する

体性感覚

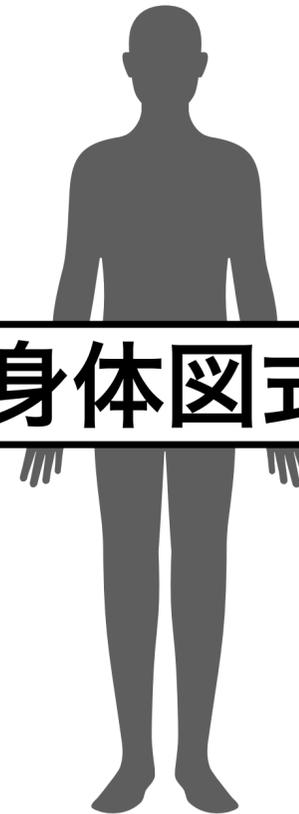
×

視覚

=

身体図式

どれが障害されると身体失認？



身体失認とは？

身体失認あるいは身体図式障害とは自己身体に対する空間的認知の障害と定義する

体性感覚

312野

×

視覚

17野

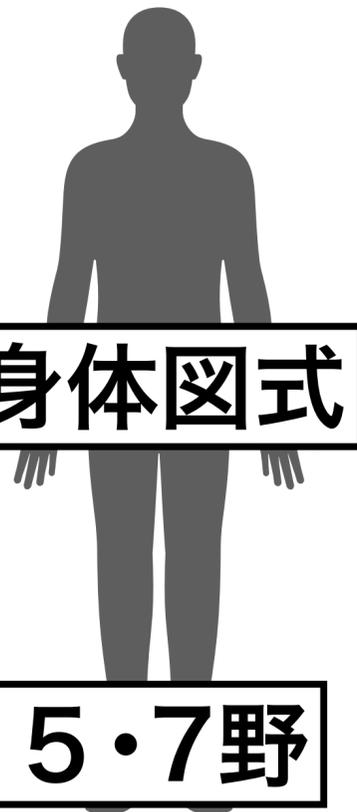
=

どれが障害されると身体失認？



身体図式

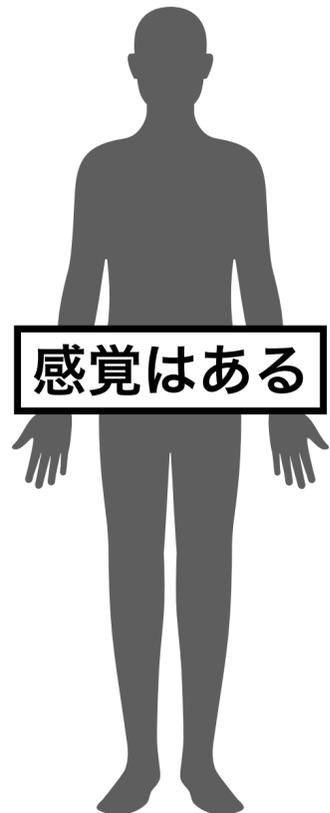
5・7野



身体失認とは？

身体失認あるいは身体図式障害とは自己身体に対する空間的認知の障害と定義する

自分の身体の状態



認識できない

物事をはっきりと見分け、
判断すること

結果

半身を無視して使わない（半身身体失認）
麻痺がないように動く（病態失認）
何指かわからない（手指失認）
苦痛に対して逃避しない（疼痛象徴不能）

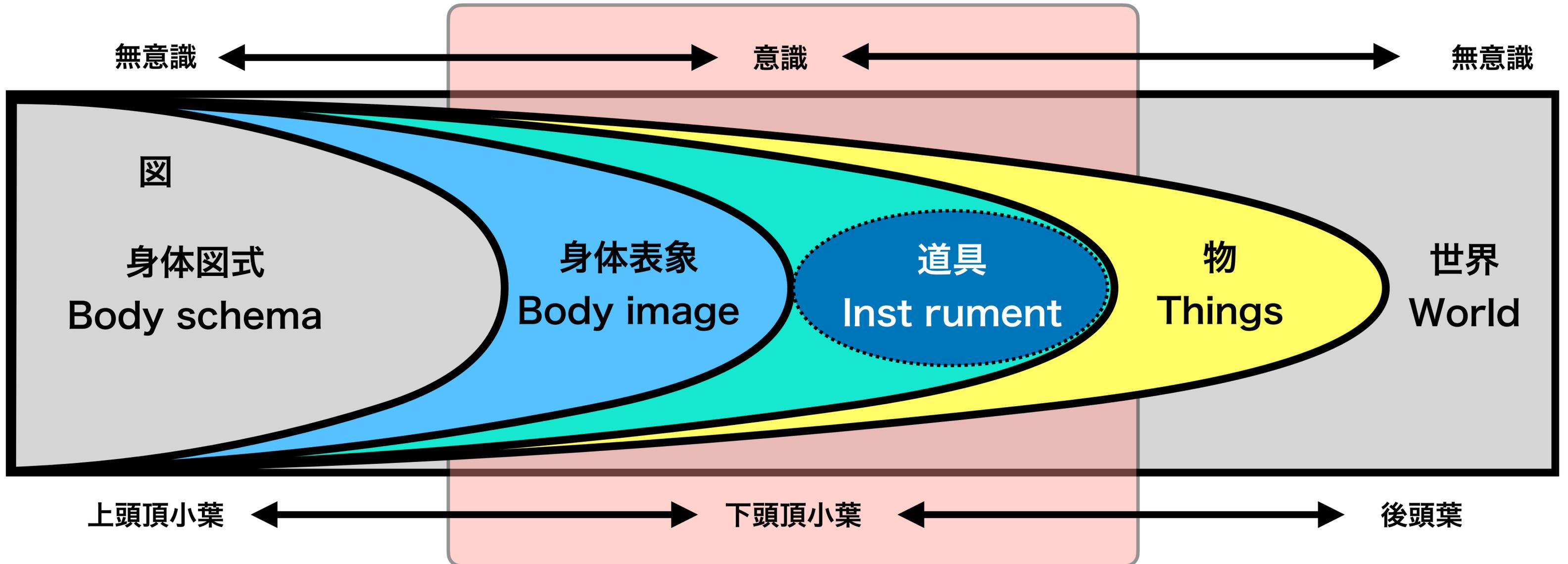
どこに・どんな状態

ここで疑問：もし身体図式の障害であれば無意識の障害。下頭頂小葉を使い意識すれば使えるのでは？

意識しても使えないのは？

経験により更新される習慣的な身体

自分の身体の空間的イメージを成立させる意識化の働き



発見して報告したり，反応したり，その方向を向いたり

頭頂連合野

背背側経路（視覚情報）

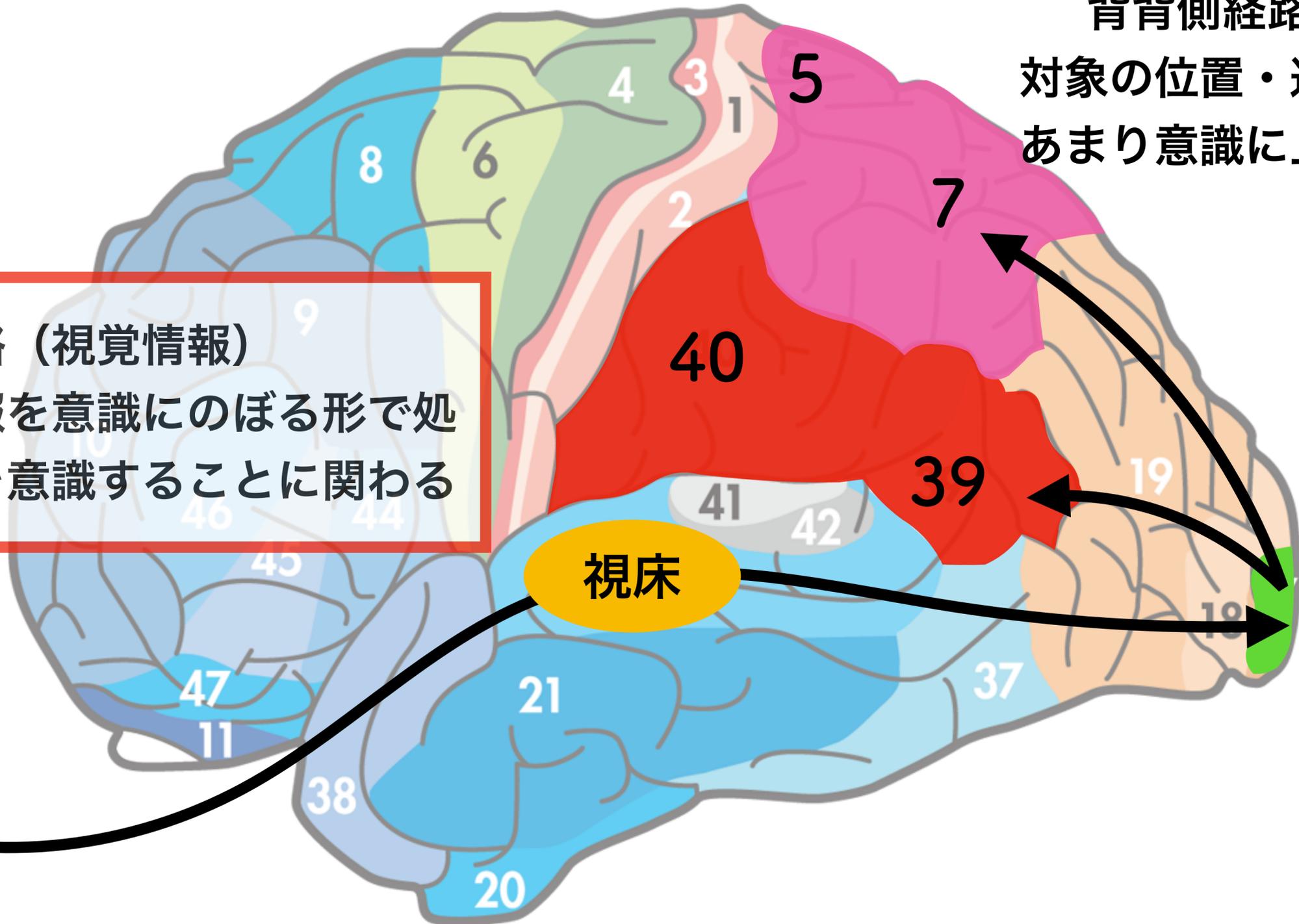
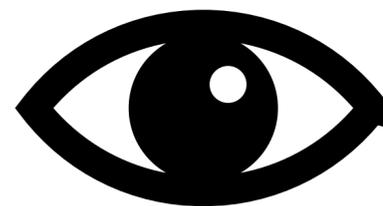
対象の位置・運動・形の情報
あまり意識に上らない形で処理

腹背側経路（視覚情報）

対象の色や形を
意識にのぼる形で
処理し、対象の存在を
意識することに関わる

視床

17野
視覚野



道具を使ったり、自己身体に意識を向ける動きは

自己身体を使うには表象が必要



意識を向ける場所を変える必要がある



空間に意識を向ける

発見して報告したり，反応したり，その方向を向いたり

頭頂連合野

背背側経路（視覚情報）

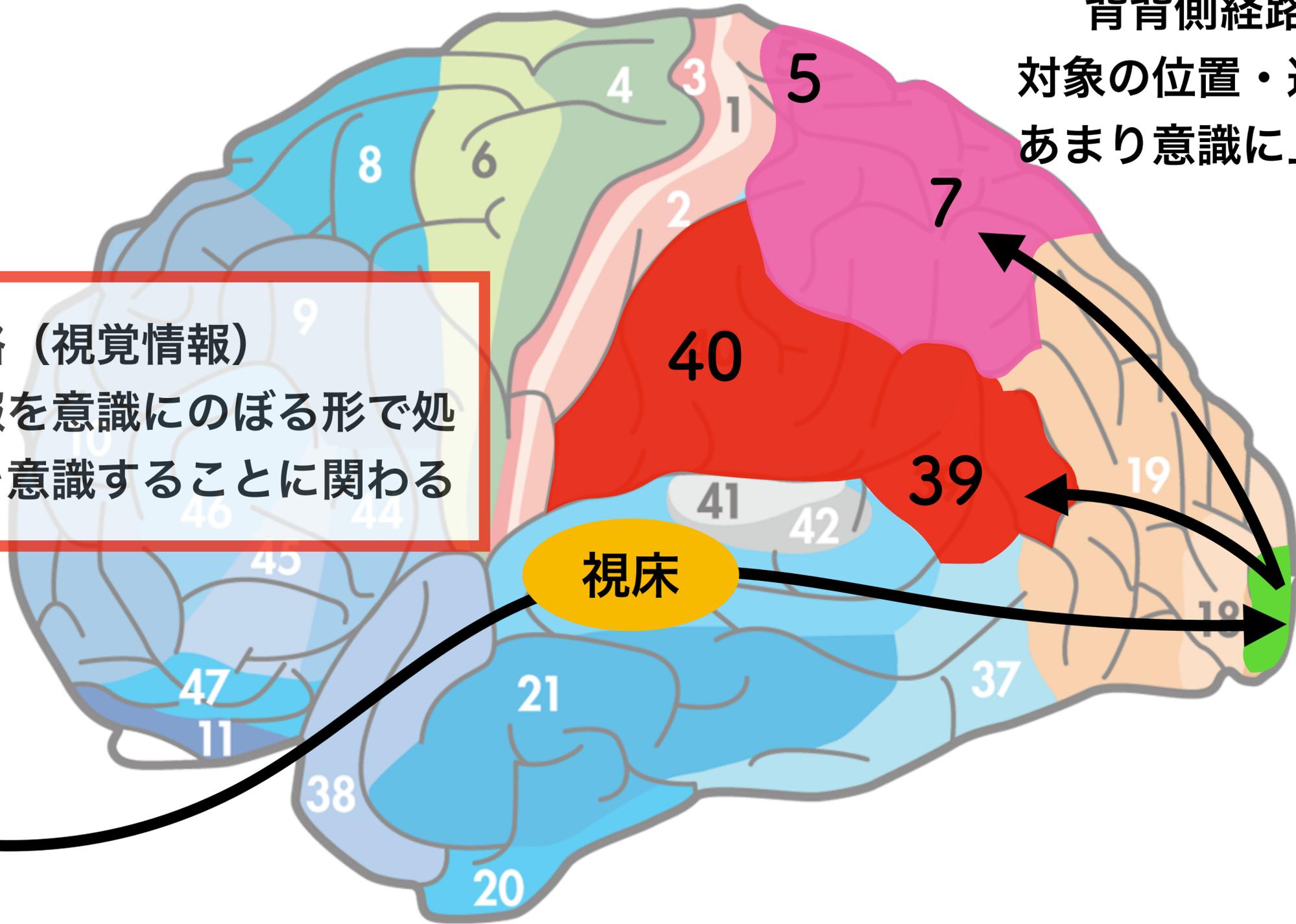
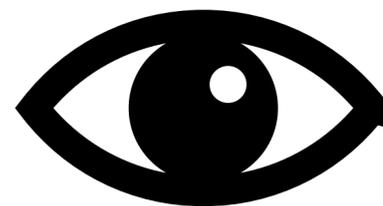
対象の位置・運動・形の情報
あまり意識に上らない形で処理

腹背側経路（視覚情報）

対象の色や形を
意識にのぼる形で
処理し、対象の存在を
意識することに関わる

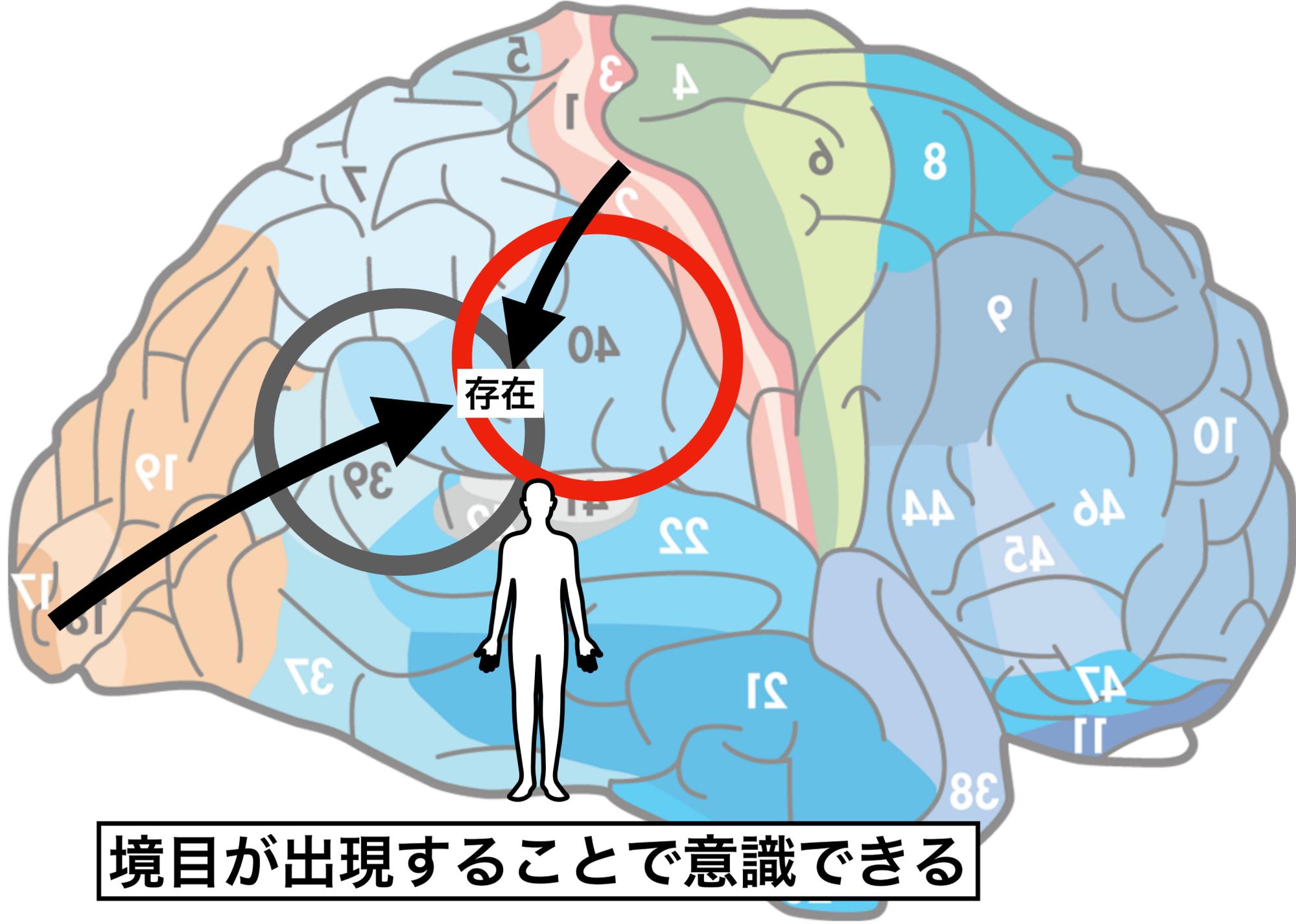
視床

17野
視覚野



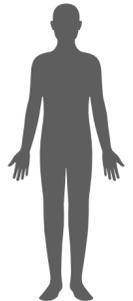
道具を使ったり、自己身体に意識を向ける動きは

自己身体を使うには表象が必要



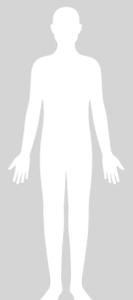
境目が出現することで意識できる

体性感覚優位



自分の身体が作る空間情報が集まる

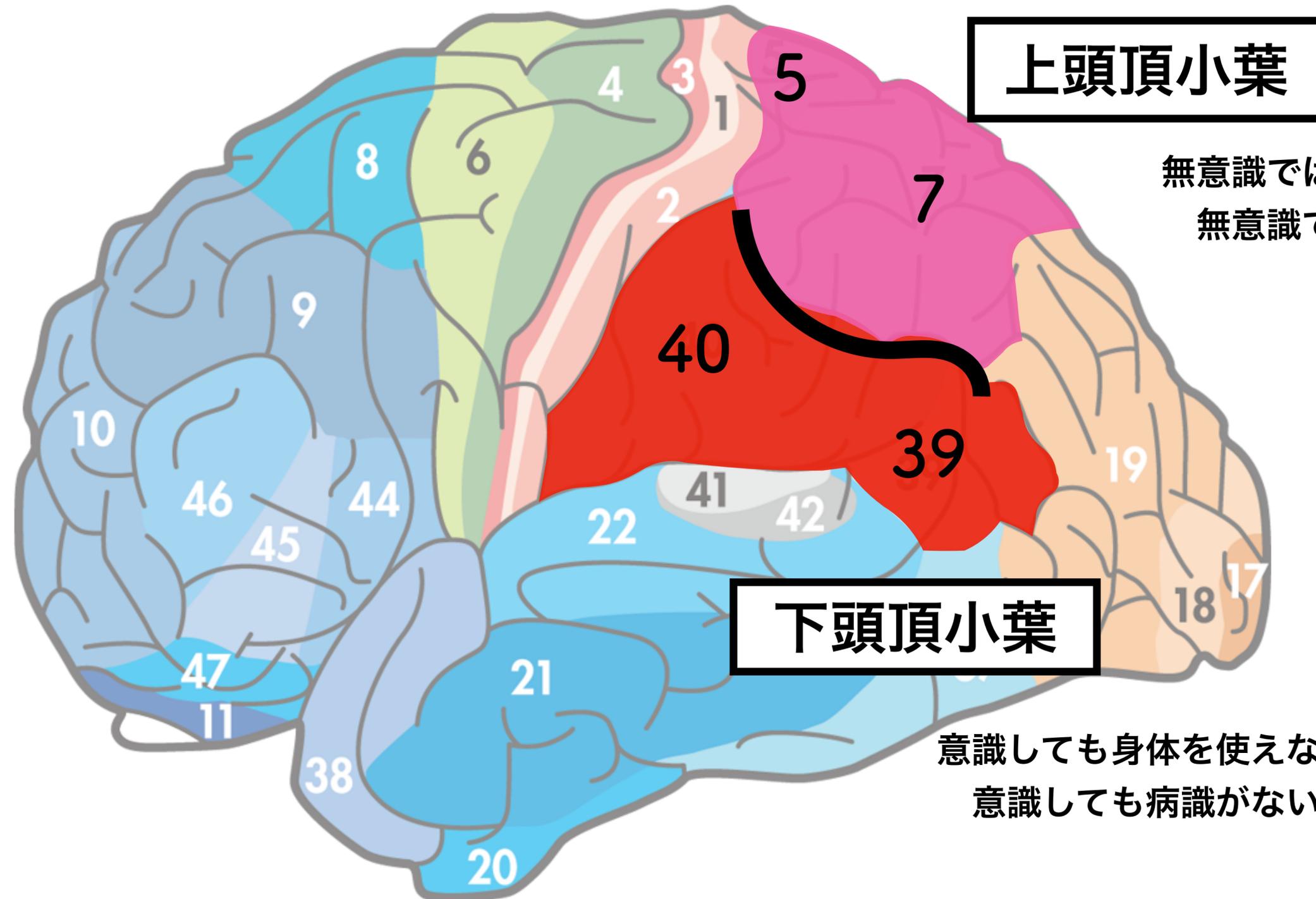
視覚優位



体の外の空間情報が集まる

ここで疑問：もし身体図式の障害であれば無意識の障害。下頭頂小葉を使い意識すれば使えるのでは？

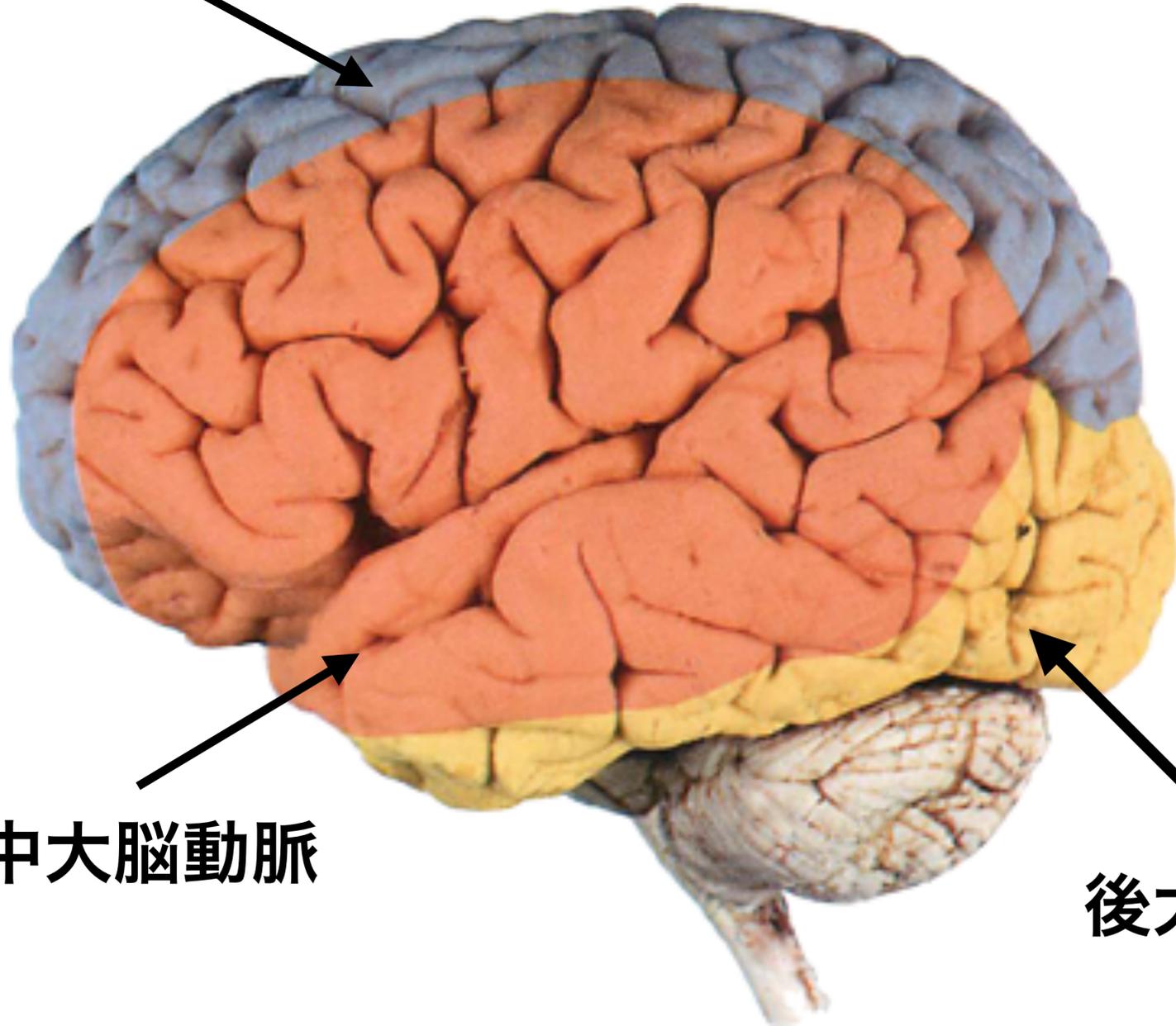
意識しても使えないのは？



どちらか
見分けよう・・・

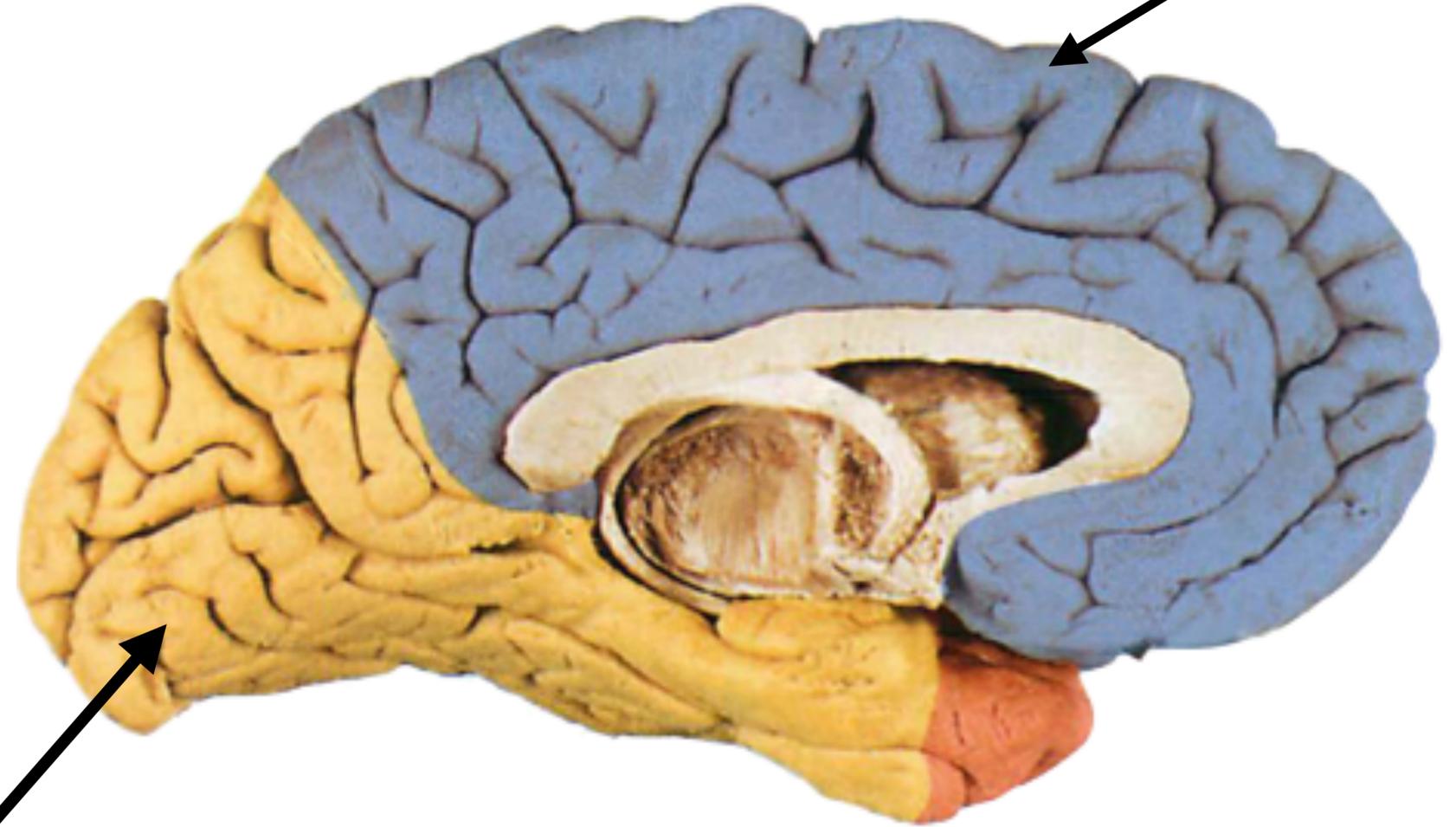
失認と脳血管支配

前大脳動脈



中大脳動脈

前大脳動脈



後大脳動脈

前頭葉

運動実施

判断

選択

頭頂葉

体性感覚と視覚

空間認知

44野

ブローカー野

45野

三角部

9・46野

前頭前野背外側部

8野

前頭眼野

6野

運動前野

4野

運動野

3 1 2野

感覚野

5・7野

高次感覚野

40野

縁状回

39野

角回

41・42野

聴覚野

2 2野

ウェルニッケ野

21野

中側頭回

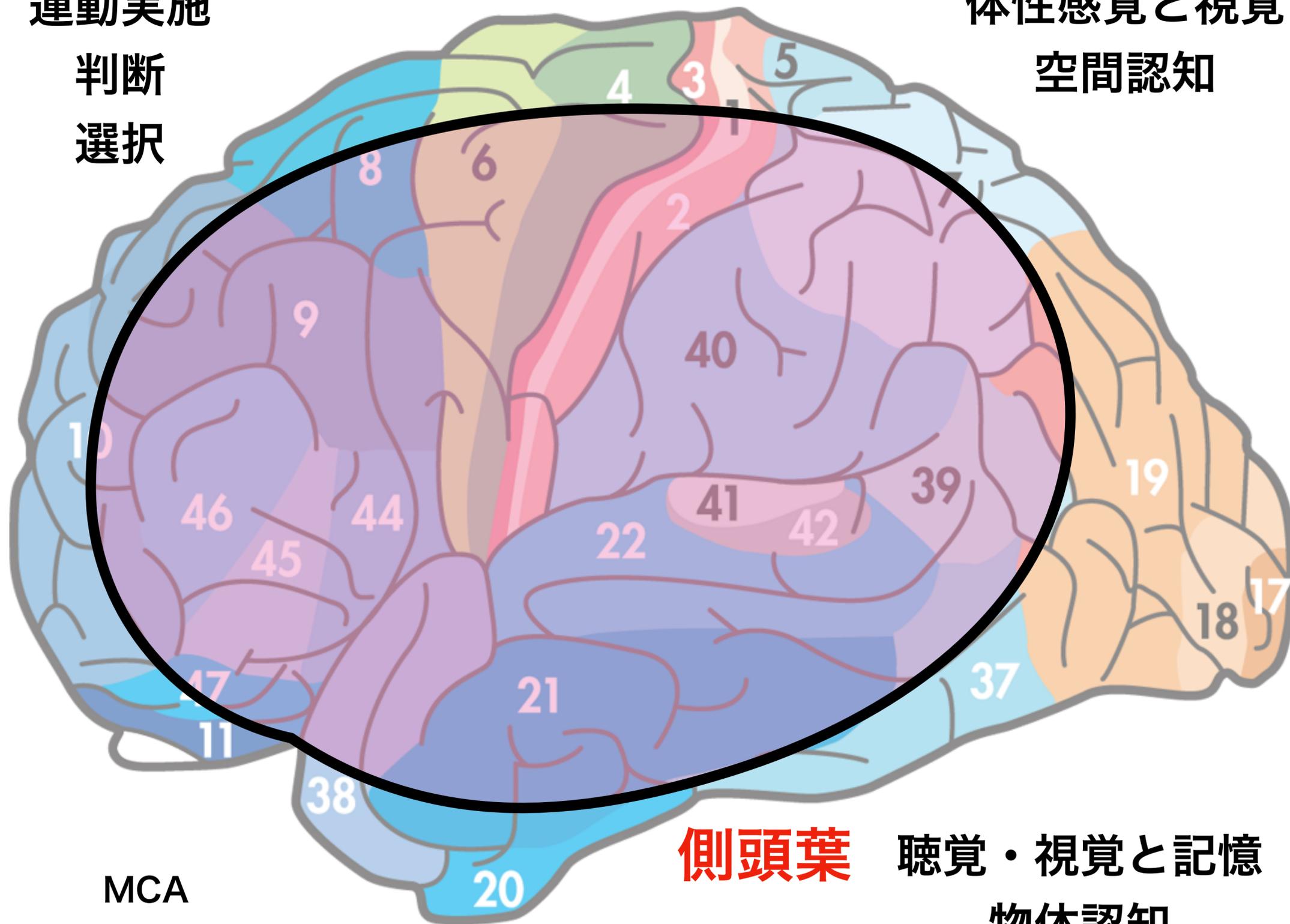
38野

側頭極

側頭葉

聴覚・視覚と記憶

物体認知



MCA

前頭葉

運動実施

判断

選択

頭頂葉

体性感覚と視覚

空間認知

44野

ブローカー野

45野

三角部

9・46野

前頭前野背外側部

8野

前頭眼野

6野

運動前野

4野

運動野

3 1 2野

感覚野

5・7野

高次感覚野

40野

縁状回

39野

角回

41・42野

聴覚野

22野

ウェルニッケ野

21野

中側頭回

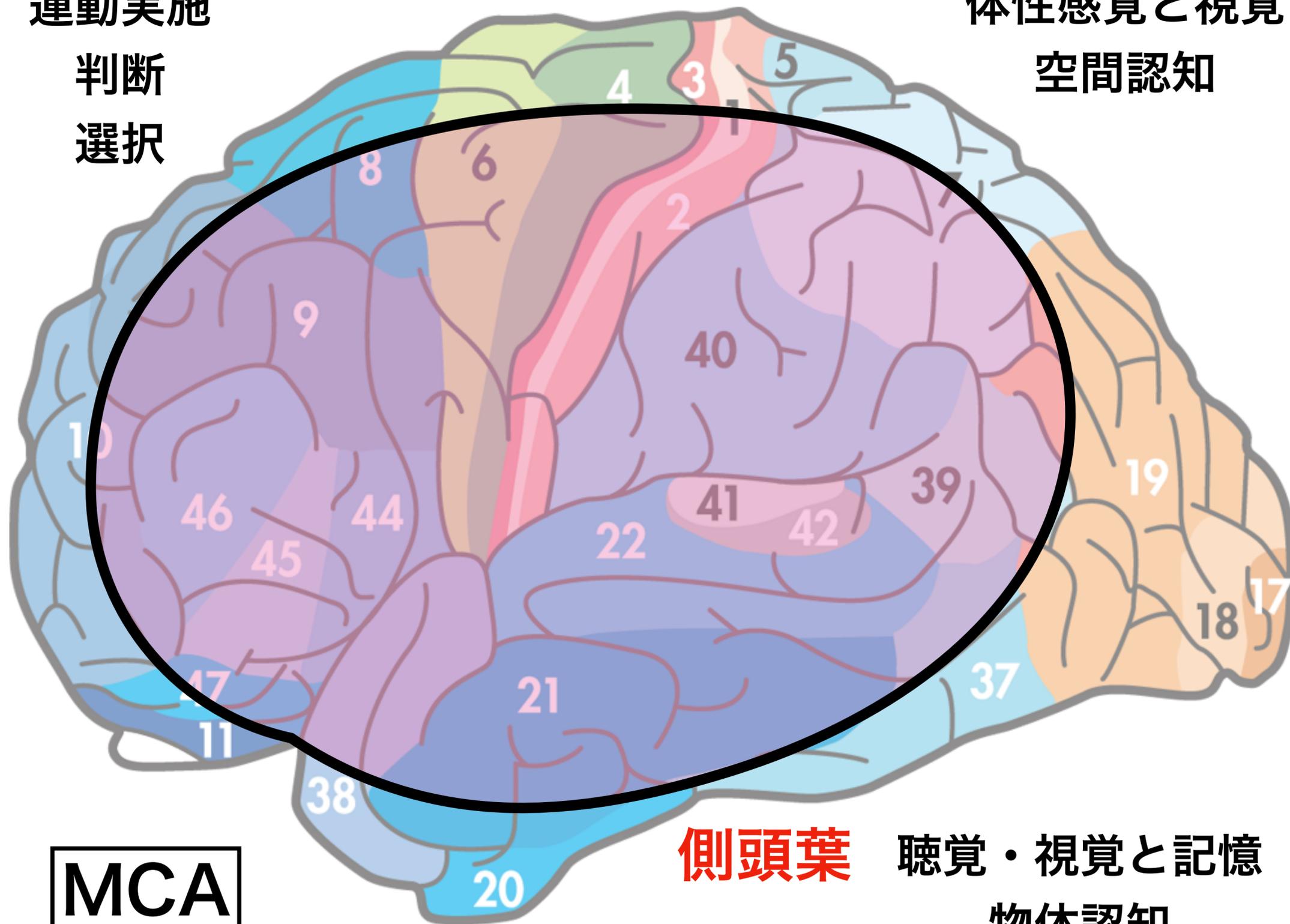
38野

側頭極

側頭葉

聴覚・視覚と記憶

物体認知



MCA

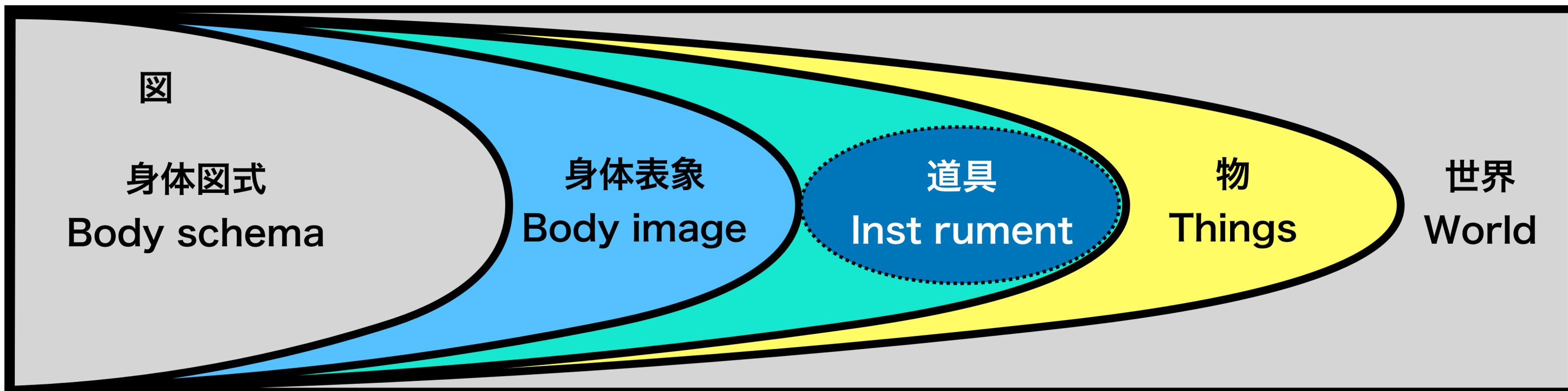
どうすればいいのか？

経験により更新される習慣的な身体
自分の身体の空間的イメージを成立させる意識化の働き

無意識

意識

無意識



上頭頂小葉

下頭頂小葉

後頭葉

人は物をどのようにして認識しているのか？

